



やまがた 議会だより

35号

平成24年2月1日発行

発行：山県市議会

編集：議会報編集委員会

〒501-2192

岐阜県山県市高木1000番地1

Tel. 0581 (22) 6840

Fax. 0581 (22) 6852

E-mail gikai@city.gifu-yamagata.lg.jp



平成24年山県市消防出初め式

目 次

第4回定例会	P2
常任委員会報告	P3~4
所管事務調査	P4~5
議会行政視察研修報告	P6~7
第1回（3月）定例会予定	P7
一般質問	P8~11
議会活動日誌	P12

第4回定例会

平成23年第4回定例会を11月29日から12月16日までの18日間の会期で行いました。

29日は、専決処分案件1件の報告後、市長より上程された専決処分案件1件・人事案件1件・条例案件2件の議決を行い、引き続き市長から条例案件6件・補正予算案件5件・その他案件2件の提案説明がありました。その後、議員提案による条例案件1件を提出しました。8日は、初日に提案された議案に対する質疑を行い、議員提案を

のぞきそれぞれの委員会に付託し、9日に総務文教委員会、12日に産業建設委員会、13日に厚生委員会を開催し、慎重に審議しました。続いて各委員会ごとに所管事務調査を行いました。14日は、8人の議員が市政について一般質問を行いました。16日は、付託案件に対する委員長報告・質疑後、討論・採決を行い、全議案議決しました。続いて議員提案による意見書1件の議決を行い、閉会しました。議決結果は次のとおりです。

第4回定例会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
専決処分案件 (報告)	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分について			
専決処分案件 (承認)	平成23年度山県市水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分について		承認	全会一致
人事案件	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	全会一致
条例案件	山県市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致
	山県市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		可決	全会一致
	山県市行政組織条例について	可決	可決	全会一致
	山県市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	山県市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	山県市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	山県市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	岐阜県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正する規約について	可決	可決	全会一致
	山県市議会委員会条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致
予算案件	平成23年度山県市一般会計補正予算（第4号）	可決	可決	全会一致
	平成23年度山県市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	可決	全会一致
	平成23年度山県市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	可決	全会一致
	平成23年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	可決	全会一致
	平成23年度山県市水道事業会計補正予算（第2号）	可決	可決	全会一致
その他案件	山県市有線テレビ放送施設の指定管理者の指定について	可決	可決	全会一致
	山県市青波福祉プラザの指定管理者の指定について	可決	可決	全会一致
意見書	国民健康保険に対する国庫負担金の引き上げを求める意見書について		可決	全会一致

常任委員会報告

総務文教委員会

一 付託案件について

議第五十六号

山県市行政組織条例について

議第五十七号

山県市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

議第五十八号

山県市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議第五十九号

山県市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について

議第六十号

山県市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

議第六十一号

岐阜県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正する規約について

議第六十二号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算（第四号）（総務文教関係）

議第六十七号

山県市有線テレビ放送施設の指定管理者の指定について

主な質疑

議第五十六号

議事事務局の仕事は、総務課で行うということか。

教育委員会は、出向ということで条例に書かれていないのか。また、教育委員会には、現在、学校教育課と生涯学習課があるが、どのような取り扱いになるのか。

議会の庶務については、議事事務局となりますが、市長が提案する議案等のとりまとめ及び精査については、総務課ということ想定しています。教育委員会については、教育委員会の行政組織規則の中で定められることとなりますが、現状と同じ学校教育課と生涯学習課を想定しています。

役職としては、四月一日から現在の教育委員会事務局長のポストをなくすることを想定しています。

福祉課の分掌事務の中に市民相談があるが、現状いろいろな相談が増えているという社会情勢を考えて、市民サイドにわかりやすい名称を工夫できないか。

条例の大きな項目ではわかりにくいので、行政組織規則という細分化したものをつくりたい。市民に向けては、更にわかりやすい方法を検討し、早い段階で周知したいと思っています。

議第六十二号

消防費における消防団員等公務災害補償等共済掛金の内容及び一人あたりの補償金額の最高額は。

震災により、二百億五千三百万円ほどの不足額が生じ、当初の一

人あたりの掛金千九百円が、二千八百円増額となりました。これにより、本市の消防団員六百人分千三百六十八万円を追加するものです。

補償金は、資料によりますと、勤続年数が十年未満の分団長で、扶養が妻と子ども二人の場合、一時金として二千二百三十万円、年金として三百十万円が支払われます。

中学校費における教育振興にかかわる指導書は、教科によつて科目ごとに全部の教員にわたるのか、教科ごとに何冊と限定して渡すのか。教員全員に一冊渡すということではなく、共同で使えるよう少し冊数を減らしながら、科目ごとに学校ごとに何冊ということにしています。

議第六十七号

シーシーエヌという会社の設立時期、業務内容、経営状況などの概要は。

岐阜市にある会社で、会社の設立は、昭和六十三年四月三十日です。業務内容は、有線テレビジョン放送事業（ケーブルテレビ）、電気通信事業（インターネットサービス）、放送番組の制作・販売等です。

経営状況は、資本金が、現在、一億八千七百万円で、従業員数は九十名ほどです。売上高は、平成二十三年三学期で約三十七億四千万円、経常利益が約五億七千万

円です。総資産は、五十一億七千五百三十六万円です。

五年契約というのは、社会情勢が緊迫しているいろいろな問題が起こる時期に長いのではないかと。

管理のみではなく、機器の更新等設備投資も含んでおり、短期間では機器更新に無理がありますので、五年という期間を設定しました。

採決の結果、全議案とも全会一致で原案通り可決すべきと、決定しました。

産業建設委員会

一 付託案件について

議第六十二号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算（第四号）（産業建設関係）

主な質疑

議第六十二号

都市計画費の公下水道事業特別会計繰出金の内容は。

この繰出金につきましては、水道課の予算になっております。内容は、水道の補償費六百八十五万七千円の増額、及びガス管移設補償費九百十九万三千円を併せて、千六百五万円の追加補正となっております。

採決の結果、議第六十二号は全会一致で原案通り可決すべきと、決定しました。

厚生委員会報告

一 付託案件について

議第六十二号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算（第四号）（厚生関係）

議第六十三号

平成二十三年度山県市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

議第六十四号

平成二十三年度山県市介護保険特別会計補正予算（第一号）

議第六十五号

平成二十三年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算（第一号）

議第六十六号

平成二十三年度山県市水道事業会計補正予算（第二号）

議第六十八号

山県市青波福祉プラザの指定管理者の指定について

主な質疑

議第六十二号

Q 公害対策費、備品購入費の放射線機器の活用方法と周知について。

A 本所、美山支所、伊自良支所の三箇所に設置し、週に一回測定を行う予定です。周知方法は、ホームページを予定しています。

Q 広域保育所入所委託料六十九万六千円の内容は。

A 美濃市の保育園へ入所する二名分の費用で、美濃市へ支払います。

Q 民生費、生活保護費の増額分の

内容は。

A 生活保護者四十二世帯五十八人が、四十四世帯六十三人に増えたためです。

Q 生活保護者を減らす対策はどのようなにしているか。

A 就労活動支援を、ハローワークや近隣の企業に依頼しています。

Q 桜尾保育園改修工事四百五十四万七千円の内容は。

A 屋根防水工事二百三十三万円、残りは保育室改修、及び物置設置工事です。

Q 桜尾保育園の時間外保育について。

A 時間外保育は、午後六時半から七時までで、一人でも預かります。

議第六十八号

Q 青波福祉プラザの利用状況について。

A いこいの広場の利用者数は延べ七千八百四十一人、子育て支援事業は六百七十六人、喫茶事業、配食サービスは二千八十人です。

採決の結果、全議案とも全会一致で、原案通り可決すべきと、決定しました。

二 意見書について

「国民健康保険に対する国庫負担金の引き上げを求める意見書」について、採択することと決定しました。

所管事務調査報告

各常任委員会の所管する今年度事業等を調査するため、所管事務調査を行いましたので、その報告をまとめました。

総務文教委員会（十二月九日）

第六十七回国民体育大会馬術競技会場の工事進捗状況の把握を目的に視察した。

二カ所の競技場は、整地が終了した段階で、今後は砂を四〇五センチの厚さに敷いて完成する予定である。



馬場馬術競技場

障害飛越競技場の外側にダービーコースを新設する、馬場馬術競技場の南側に二百席の一般観覧席を設置する、同北側に四区画厩舎を設けるの三つの工事を進めるという説明を受けた。

国体終了後の撤去工事は、岐阜県の負担であり、山県市の負担は、駐車場と休憩所の撤去分程度になるという見通しも伺った。

山県市図書館改修工事の状況を視察した。

国の「光をそぐ交付金事業」の補助金を活用し、トイレの洋式化・乾式化と床のカーペットの張り替えを行った。また、書棚の一部配置換えと転倒防止を同時に実施した。

図書館利用者（本館分）は、二万五千九百六十人（月平均、二千六百六十三人）であると説明を受けた。

梅原小学校校舎改修工事状況を視察した。

児童用と職員用のトイレを、洋式化・乾式化した。衛生的で美的な環境が保持できると説明があった。

耐震化と屋根の防水の補修を含めた総額で、二千八百十四万円の工事を実施した旨の説明があった。

産業建設委員会(十二月十二日)

都市計画決定道路を視察した。

市内には、都市計画決定道路が、東海環状自動車道、岐阜駅高富線、和合松・井戸尻線、本町森線、南八京線、^{かすき}犁森線、佐賀本町線の七路線ある。決定してから二十四年が経過し、県より平成三十年までに着手見込みのない路線は、計画の見直しの指導があり、市では地域の状況及び周辺の道路整備状況を鑑み、都市計画決定道路の見直しを行うものである。

今回の見直し予定路線は、和合松・井戸尻線、^{かすき}犁森線の二路線である。和合松・井戸尻線は二五六号バイパスが整備されたことにより、計画幅員を十六メートルから十二メートルに縮小する路線である。^{かすき}犁森線は、隣接道路が整備され、都市機能上の位置付けが低下したことに、廃止する予定路線である。

都市計画決定道路の見直しをするにあたり、地元の理解が得られるかが課題である。

市道路改良工事大北線・螢ヶ丘線を視察した。

市道大北線道路は、大北の中央部に位置する市道で、施工延長四十メートルの区間を改良するもので、事業費は四百三十四万七千円である。

工事の内訳は、側溝六十二メートル、擁壁二十二メートル、舗装工百九十六平方メートルで、工事を実施中である。

市道螢ヶ丘線道路は、螢ヶ丘への進入路で、施工延長六十メートルの区間を道路改良するもので、事業費は七百七十一万七千五百円である。工事の内訳は、側溝七十四メートル、擁壁六十九メートル、舗装工二百三十一平方メートルで、工事を実施中である。



佐賀金池地内を視察した。

山県市佐賀金池地内での土地開発事業の事前協議計画は、開発面積一万四千三百五十八平方メートルで、土地開発事業名は、天理教美谷分教会建設事業である。開発区域の現況は山林で、開発後は、宗教施設用地、共同住宅用地、公園・広場、調整池等の事業の計画である。

厚生委員会(十二月十三日)

桜尾保育園の改修工事場所の視察をした。

大桑保育園との統合を見据えた工事であり、内容は屋根の防水工事及び保育室、物置設置との説明を受けた。また、統合後は五クラス(零歳・一歳児一クラス、二・五歳児各一クラス)編成が予定されることも伺った。



改修工事が行われる桜尾保育園

みやま保育園の統合後の状況について視察をした。

統合により子どもたちは、年度当初と比べると今まで以上にコミュニケーションがとれるようになったり、お互いを意識したり認め合うという力が育ってきたと伺った。

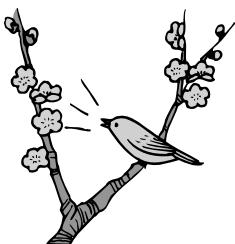
また、駐車場の用地確保が必要ではないかという意見もあった。

公共下水道事業(旭ヶ丘地内)の進捗状況を視察した。

幅約一メートルで、深さ一〜四メートル程度の溝を機械で掘り、管を布設した後に埋め戻すという作業を連続に繰り返す工法(開削工法)の内容について説明を受けた。また、布設するリブ付き硬質塩ビ管も直視することができた。

岐阜北厚生病院の運営状況について視察した。

岐阜北厚生病院の常勤の医師数は、平成十五年には八診療科で二十五名が在籍していたが、新臨床研修医制度の導入と開業のため医師数が減少し、現在では、四科で十七名となっていると伺った。また、平成二十三年三月に開設された乳腺センターの視察においては、乳がんの診断治療、再発防止、患者及び家族のサポート体制など、専門医による治療の充実に力をいれていると伺った。



議会行政視察研修報告

今回の行政視察は、平成二十三年第三回の定例会において議員派遣の議決を得て、十月二十六日から二十八日まで兵庫県淡路市・相生市、岡山県美作市への視察を行いましたので、その報告を三名の議員がまとめました。

災害の恐ろしさについて

総務文教委員会副委員長 上野欣也

北淡町の「野島断層保存館」で、十キロメートルが十秒で動いた震動によって、地震が発生し、マグニチュード七・三の規模で、大きなズレで五十センチ、小さなズレで二十五センチが連続する地割れの跡を見学した。

メモリアルハウスに移動し、断層が家屋の直下から一メートル脇を通った跡を見て回った。大きなズレで曲がってしまった外壁を目の当たりにし、激震のエネルギーのすごさを感じ取った。

その後、記念公園となっているセミナーハウスで、「阪神淡路大震災」について、語り部の話を聞いた。

「阪神淡路大震災」では、淡路島の北淡町から神戸市六甲まで六十キロメートルの活断層が走った。十秒間で二メートル十センチの横揺れと、上一メートル三十センチの縦揺れによって断層が動いた。続いて起きた余震によって、大きな地殻変動が発生した。

自衛隊の出動要請は手続きに時間がかかり、午前十時三十分となった。

早朝の地震発生で、消防団員のほとんどが在宅で、三百名の救出が出来た。二十五名の死亡者は、殆どが即死の状態であった。

企業誘致について

産業建設委員会副委員長

尾関律子

産業建設委

員会所管の「企業誘致について」

岡山県美作市を視察した。

美作市は、

岡山県の北東部に位置し、

平成十七年三

月に六町村が

合併し誕生した。

総人口三万千

二百七十三人、

総面積は、四

百二十九平方

キロメートルで、九十%

が山林田畑である。

基幹産業は、農林業の他、産業

団地や、美作三湯の一つ湯郷温泉など、自然に恵まれた地域である。本市の倍近い面積であるが、山林田畑の割合や人口は、本市とほとんど変わらない市である。地域の中央部には、中国自動車道が東西に走り、京阪神圏を結ぶ大動脈になっており、中国横断自動車道姫路鳥取線が建設中で、今後、美作岡山道路も計画されている。



北淡震災記念公園



美作市役所にて

平成十七年三月に作東インターチェンジが供用開始となり、市も

専門部署（企業誘致課）を設け、産業団地等公的団地、空き工場等民有地への企業誘致について、各種優遇制度を活用し推進している。これにより現在、産業団地内で六社が操業し、三百五十人以上（市内約六割）の雇用の創出となっている。税収増等地域への波及効果の向上を図っている。また、企業誘致活動をする職員を岡山県東京事務所に平成十八年度から三年、岡山県大阪事務所に平成二十年度に一年、（財）岡山県産業振興財団に平成十八年度から四年と、平成二十年度にそれぞれ一名派遣し、幅広い情報収集等を進めて、現在一万件の紹介をかけている。

本市においても、東海環状自動車道及び（仮称）山県インターチェンジの完成を目指し、企業誘致と雇用の確保を推進し、専門の担当者に幅広いPR活動を実施されるべきと実感した。

子育て支援・人口減少対策・定住促進施策について

厚生委員会委員長 藤根 圓六

厚生委員会所管の「子育て支援等」について、相生市を視察した。

当市は、兵庫県の南西部に位置し、総面積は九十平方キロメートル、人口三万四千四百六十七人、高齢化率は二十五・四パーセントとなっており、山県市と似かよった市である。

平成二十三年四月一日「子育て応援都市宣言」をし、子育て世代を市民皆で応援し、子育てしやすい相生市を目指している。

市では、幼稚園の給食実施、幼稚園・小学校・中学校の給食完全無料化、幼稚園・保育所の保育料無料（軽減）化、幼稚園の預かり保育実施、新婚世帯家賃補助金交付、新築住宅建設及び購入補助等の事業を行うことにより、子育て支援、定住・人口増対策に取り組んでいる。事業実施までの経緯として、行財政健全化を図り、五力年で二十％の予算削減を達成したとのことである。また、各事業費の予算及び財源については、通常予算の中で努力することである。



相生市役所にて

今後は、特に財政の健全化を維持し、子育て・教育関係の予算については、固定経費としての認識を、市民皆で共有することが大切であるとのことであった。山県市においても、相生市の取り組みを市政に反映していきたい。

平成24年第1回（3月）議会定例会予定

月	日	曜日	会 議	内 容
2	27	月	本会議	提案説明
3	7	水	本会議	質疑
	8	木	総務文教委員会	付託案件審査
	12	月	産業建設委員会	付託案件審査
	13	火	厚生委員会	付託案件審査
	14	水	本会議	一般質問

月	日	曜日	会 議	内 容
3	15	木	本会議	一般質問
	16	金	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決

会議は原則午前10時より開会します。傍聴の受付は住所・氏名のご記入だけです。お気軽に傍聴にお越し下さい。

8人の議員が登壇し、市政を問う 一人45分の中で質問しました

山県市における北部地域の対策は

石神 真 議員

問 「次世代に責任の持てる地域づくり」をテーマに、公明公正な「ふるさと山県」の持続を目指す市長のリーフレットに有りましたが、住環境の整備、過疎地域自立促進特別措置法等を活かした、美山地域の塩漬けの土地また、インフラ整備の進め方はどうするののか。

答 これまでも、過疎債を活用し、市道・林道の整備等を行ってまいりましたが、今後におきま

しても、計画的に道路インフラなどを整備するほか、様々なソフト事業にも過疎債を活用するなど、美山地域発展のための施策を進めてまいります。必要性・投資効果等を勘案し、その時々々の財政状況を見極めつつ、必要な見直しを行い、事業を展開してまいります。

また、有効活用されていない美山地域の土地につきましては、担当部署で検討を進めているところでございます。

(市長)

山県市消防団の改革は

問 地域によっては、地元消防団への入団を断る声が聞かれます。この様なことから地域性もありますが、本当に実働隊員として活躍して頂ける人数まで、人員を削減した改革を行うつもりは有るのか。

答 過去の五年のデータを基に、退団者四百八人にに対し、入団者は三百六十二人と、新たに充足した機能別消防団員四十五人の

入団があったにも関わらず、四十人の減少となっております。要因は、地域活動に対する認識の変化や、相互に助け合う共助の精神が希薄化したことが背景にあるものと痛感しています。本市としては、団組織の充実強化は基より、地域密着の消防団員の活動支援を行い、地域情勢の実情を踏まえ、管轄区域ごとの定数等の検討を実施してまいります。

(消防長)

大桑保育園について

影山 春男 議員

問 全国的に園児は減少傾向にあります。大桑保育園においても、園児が減少しています。そのため、桜尾保育園との統合問題は、避けて通れない状況となっております。地域住民や保護者の理解は得られているのか、次の質問をいたします。

①どのような経過で統合となったか。

②大桑地区自治会は合意されているか。

③地区保護者、住民は納得されているか。

④桜尾地区は納得されているか。

⑤統合後、通園等はどのようにするか。計画は出来ているか。

答 ①点目につきましては、児童福祉審議会の答申などを踏まえ、小規模保育園の保育環境の健全化を図るため、平成二十一年度より懇談会を重ね、保護者等の意見を尊重し、決定させていた

③点目につきましては、大桑保育園の保護者懇談会を重ね、統合やその時期については、ご理解いただいていると思っております。

④点目につきましては、桜尾保育園の保護者には、大桑保育園との統合について懇談会を開催し、ご理解をいただいたところです。また、桜尾地区の自治会長には連合自治会長を通じ、両保育園の統合についての進行状況などを、ご説明させていただいたところでございます。

⑤点目の統合後の通園方法でございますが、通園距離や未満児の送迎、送迎時における親同士の交流の機会などを考えますと、保護者による送迎でお願いしたいと考えております。

(保健福祉部長)



大桑保育園の統合について

横山 哲夫 議員

問 大桑保育園が平成二十四年四月から桜尾保育園との統合に向けて、保護者や地域住民に説明等を進めておられますが、これまでの経過と今後の進め方、また、園名の決定は。

大桑保育園が平成二十四年四月から桜尾保育園との統合に向けて、保護者や地域住民に説明等を進めておられますが、これまでの経過と今後の進め方、また、園名の決定は。

答 大桑保育園の統合につきましては、平成二十一年度より保護者との懇談会を進めてまいりました。また今年度より大桑自

治会連合会や、主任児童委員との懇談会を開催し、来年度より桜尾保育園との統合を決定させていたできました。

今後の予定につきましては、新しい保育園の園名を決めていただくために保護者、自治会の代表者等の代表者会議を開催し、園名を決めさせていただく予定です。

(保健福祉部長)

馬術競技場の準備状況と跡地利用について

問 平成二十四年九月から十月にかけて、ぎふ清流国体の馬術競技大会が、大桑椿野地区で開催されます。そこで、ハード面の競技会場の整備状況と、ソフト面の人的体制の準備状況、また大会終了後の会場跡地の利用方法は。

平成二十四年九月から十月にかけて、ぎふ清流国体の馬術競技大会が、大桑椿野地区で開催されます。そこで、ハード面の競技会場の整備状況と、ソフト面の人的体制の準備状況、また大会終了後の会場跡地の利用方法は。

答 ハード面は、馬場、アスファルト、碎石舗装等の工事を行い、順調に進んでいます。運営ボランティア登録者は三百人で今後も確保に努めるとともに、多くの市民の参加を得られるよう市

民運動を展開していきます。

(ぎふ清流国体推進局長)

国体馬術会場跡地は、合併特例債により公園用地として取得していますので、土地の形状は変えず、最小限の経費で、運動公園として少年サッカー、グラウンドゴルフ、もしくはゲートボール場として活用する方向で検討しております。

(市長)

農業及び農村再生策について

宮田 軍作 議員

問 国は、平成十一年に「農業は単なる農産物生産機能だけでなく、生活環境の保全や里山景観的価値を認める」ことを盛り込んだ基本法を定めました。

本市は、自然や里山景観を有しているが、残念なことに、貴重な農耕地に雑草が繁茂した耕作放棄地が、年を追って目立ってまいりました。

山県市は、依然として続く食糧自給率の低迷を深刻に受けとめ、重要な産業である農業と農村の振興について、お尋ねします。

- ①現在の農地活用率と内容は。
- ②取り組んでいる農業振興策は。
- ③今後の展望と対策は。

答 現在の農地活用率と内容は、例年、農家の皆様にご利用しています「水稻生産実施計画」及び「水稻共済細目書」では、平成二十二年度の実績で稲や野菜・牧草など何らかの形で作付けされている水田は、約七百二ヘクタールで七十九・二％、休耕田は約百八十五ヘクタールで二十・八％となっています。耕作放棄地は、平成

二十二年度全体調査では、田畑の合計が約九・四ヘクタールで〇・七％となっています。耕作放棄地や遊休農地に対しては、農地パトリール等を実施して、適切な農地管理、草刈等をお願いしています。今年度は、「遊休農地活用のための意向調査」を行い、遊休農地の指定や指導を行います。

農業振興策としては、機械化に伴う補助金と、鳥獣被害から農地を守る事業に対して、補助金があります。また、農業生産条件の不利益な地域に対して、五年間以上農業を続けること等を条件に、十三の団体に交付金を支出し、農地の荒廃防止に努めています。

今後の展望としては、魅力と希望がもてる農業にするため、農業後継者の育成対策、地場特産品の開発、農業生産基盤の整備等を推進し、農村環境の保全に努め、生産性の高い「高付加価値型農業」を目指すと共に、耕作放棄地、遊休農地の発生防止及び解消に積極的に取り組めます。

(産業建設部長)

新しい過疎地域対策について

藤根 圓六 議員

問 過疎地域自立促進特別措置法は、地域の自立促進を図り、

住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正及び美しく風格ある郷土づくりに寄与する法律である。法律を活かした美山地域の現状（現在までの特別措置法による施策、事業の内容、総額）と今後の課題と展望について所見を伺いたい。

- ① 森林環境税による、本市の施策。
- ② 産業振興策の方向性と施策。
- ③ 公共交通体系の確立。
- ④ 災害時のライフライン確保のための林道整備。
- ⑤ 限界集落への対策。

答 現在までの特別措置による施策等につきましては、平成十五年度から平成二十一年度までに、市道出戸線などの市道整備、日永林道などの林道整備、美山小学校改修事業などのハード事業を行ってまいりました。平成二十二年度からは、過疎債の対象事業がソフト事業にも拡充され、イベント事業補助金などにも活用しております。なお、これまでの過疎債の総額は、十億七百万円となっております。

今後の課題と展望について、① 森林環境税については、現在、平成二十四年度の導入を目指し、県において検討中ではありますが、美山地域の自然環境等の地域特性を活用できる施策を、検討してまいります。② 産業振興策については、企業誘致活動と特産品開発の専門チームを編成し、推進を図ってまいります。③ 公共交通体系については、市議会の行財政改革推進特別委員会からの提言を踏まえ、検討を進めてまいります。④ 林道整備については、これまで過疎債等を活用し進めてまいりましたが、今後におきましても、災害時のライフライン確保の観点からも、整備事業や維持管理を適切に行ってまいります。⑤ 限界集落については、県が中心となって設置した過疎地域集落対策研究会が行う集落実態調査を踏まえた課題の洗い出しを行い、実効性のある支援・対策を検討してまいります。

（副市長）

今後の財政見通しについて

杉山 正樹 議員

問 今、市民が一番関心のあるのは、今後の山県市の財政見通しであります。山県市に住んでよかったと思ってもらえる財政見通しを、責任を持って示していく事が大事であります。

そこで、市の借入金残高についてお尋ねいたします。二十三年度末から五年間の主たる財政骨格と、借入金合計の推移予測を示していただきたい。

市民と行政が一丸となり、夢と希望の持てるバランスの取れた町づくりが必要であり、一層の情報開示と財政の安定を求めたい。

答 平成二十三年度末から五年間の起債残高合計額の推移予測

につきましては、各年度末で、平成二十三年度が三百四十六億四千万円、二十四年度が三百三十億八千万円、二十五年度が三百十四億七千万円、二十六年度が二百九十四億九千万円、二十七年度が二百八十億三千万円となる見込みでございます。

「まちづくりビジョン」の実現に



向けて全力を傾注してまいります。公共下水道事業など、中長期的に財政負担が大きくなる事業もございませう。このため、今年度から平成二十八年度までを計画期間とする「公債費負担適正化計画」により、市債発行の削減に努めるとともに、行政サービスの見直し・検討を行うための公開事業仕分けを、実施する予定でございます。

（総務部長）

職員の意識改革について

上野 欣也 議員

問 政策の立案と執行の質の高
低は、職員の資質と意欲に
よって決まります。職員の意識改
革の取り組みについて伺います。

①人事考課制度の進捗状況。
②現場主義の徹底化と地域行事参加
③「組織目標」と「個人目標」を
リンクした人事考課制度の構築の
考え。

答 ①職員の勤務評定については、
今年度、評定者と被評定者
との間に生じがちな意識のギャッ

プを埋めることを狙って、「自己申告」
と「部下による上司の評価」を試
行いたしました。今後は、「目標管
理」による勤務評定につなげてま
いりたいと考えております。

②私自身の経験も踏まえ、現場
主義を徹底し、職員に地域行事等
へ参加することの意義を再認識させ、
積極的に参加するよう働きかけて
まいります。

③他の自治体の先進事例も研究
しつつ、より効果的な方法を検討
してまいります。
(市長)

厳しい財政状況を乗り切る方策について

問 実質公債費比率が十八・五
％、経常収支比率が九十・
五と高いが対応は。

①人件費や公債費を削減する行政
改革の必要性は。
②財政緊急事態宣言を行って改革
を推進し、健全な財政を守る方策は。

答 ①人件費については、定員
適正化計画を策定し、退職
者不補充などによる職員の削減を
基本としており、さらに、平成二
十四年度からは、部制を廃止する

など機構改革を実施し、削減に努
めてまいります。公債費については、
平成二十八年度には実質公債費比
率が十八％を下回ると想定してお
りますが、行政改革大綱に基づき、
不断の取り組みを行ってまいります。
②過去に多治見市で財政緊急事
態宣言がなされましたが、本市に
おいては、人件費削減や更なる事
務事業の見直しなどにより、経常
経費の削減に努め、健全財政の維
持を図ってまいります。
(市長)

健康推進の施策について

尾関 律子 議員

問 今後の施策として①大腸が
ん検診無料クーポン事業②
高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助
成③認知症等の予防に簡易な聴覚
チェックの実施④うつ病等の予防
に「こころの体温計」の活用の方
策は。

答 ①と④につきましては、来
年度からの実施に向けて検

討しております。②につきましては、
国の動向や安全性、費用対効果等
の研究の推移を見守りながら、検
討していきます。③につきましては、
現時点で聴覚チェック導入は、考
えておりませんが、啓発を行って
いきたいと考えています。
(保健福祉部長)

女性の視点からの防災対策について

問 防災対策の見直しが検討さ
れるなか、女性の視点や子
育てのニーズを反映した対策が必
要です。防災会議への女性の登用・
備蓄品の充実・避難所運営模擬体
験ハグ(HUG)の実施の考えは。

答 山県市防災会議への女性の
登用については、今後、選

任の際に、より多くの女性委員の
登用を進めてまいります。
また、女性のニーズが反映でき
るよう、備蓄品の充実を図ると
もに、避難所運営マニュアルを策
定したうえで、模擬体験が実施で
きるように努めてまいります。
(総務部長)

ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

問 患者負担の軽減を図り、国
保財政を健全化する一助と
して、ジェネリック医薬品の促進
による差額通知サービス実施と、
ジェネリック医薬品希望カードの
発行の考えは。

答 平成二十四年度より希望す
る保険者は、後発医薬品利

用差額通知を実施することが可能
となりましたので、ジェネリック
医薬品の使用促進のため、利用差
額通知の実施を予定しています。
ジェネリック医薬品希望カードは、
五月に被保険者世帯へ送付を予定
しております。
(市民環境部長)

◆ 議会活動日誌 ◆

10月

- 1日(土) ふるさと栗まつり2011前夜祭
- 2日(日) ふるさと栗まつり2011
- 6日(木) 議会報編集委員会
- 13日(木) 行財政改革推進特別委員会
- 14日(金) 議会報編集委員会
- 26日(水)～28日(金)
議会行政視察

11月

- 6日(日) 第9回やまがた社会福祉大会
- 9日(水) 山県市戦没者追悼式
- 10日(木) 中濃十市議会議長会議員研修会
- 16日(水) 行財政改革推進特別委員会
- 17日(木) 東海環状自動車道及び幹線道路
整備促進特別委員会
- 18日(金) 議会運営委員会
- 20日(日) 青少年育成推進大会・PTA連合
会研修会
- 22日(火) 全員協議会
議会報編集委員会
- 26日(土) あかりのファンタジー in みやま
- 29日(火) 第4回定例会本会議 (提案説明)
- 30日(水) 議会運営委員会

12月

- 3日(土) 馬術&バレーボール応援フェ
スタ
- 8日(木) 本会議 (質疑)
- 9日(金) 総務文教委員会
- 12日(月) 産業建設委員会
- 13日(火) 厚生委員会
- 14日(水) 本会議 (一般質問)
- 16日(金) 本会議 (委員長報告・質疑・
討論・採決)
議会運営委員会

編集後記

秋になると落葉樹は、紅葉を始め、やがて晩秋になって落葉します。

光合成を止めた葉は、栄養分だけを吸収する無駄な存在となり、枝から切り離されます。

スリム化した木々は、激冬を乗り切り、春を迎えて新たな芽吹きを始めます。

厳しい財政状況にある本市は、春夏秋冬に見せる木々の営みに学び、無駄をばさり切り落とす勇断をし、新たな事業創造をしたい。

やがて迎える春に備えて、エネルギーを蓄える自然の摂理に学ぶ所大である。

(文責 上野欣也)

編集委員

委員長	田垣 隆司
副委員長	上野 欣也
委員	杉山 正樹
	尾関 律子
	村瀬 伊織